

SDGsについて



ここ最近、お客様から環境に配慮した商材の相談を多くいただくようになりました。CSRに力を入れる企業や組織が増えていることを感じます。

今回は環境配慮だけではなく、よく耳にするようになったSDGsの概要と日本の位置づけについてまとめてみました。

SDGs(持続可能な開発目標)は、2016年から2030年の15年間で達成が目標されている国際的な目標です。2015年9月に国連で開催された持続可能な開発サミットで国連加盟全193カ国によって採択されました。基本的な理念は誰一人取り残さないと設定されています。SDGsは17目標とその目標内に設定された169のターゲット、指標となる232のインジケータで構成されます。

2021年6月にSDGsの達成度・進捗状況に関する国際レポート
Sustainable Development Report 2021(持続可能な開発レポート)

<https://www.sustainabledevelopment.report/>

が公開されました。

このレポートは世界165カ国のSDGsに関する取り組みをスコア化して順位を付けたものです。

下記はここ5年の日本の順位とスコアです。

2017年	11位(80.2点)	2020年	17位(79.1点)
2018年	15位(78.5点)	2021年	18位(79.8点)
2019年	15位(78.9点)		

日本のスコアは上がっていますが、トータル順位は下がっています。各国の取り組みが進められてきている結果だと言えます。

また、今年はコロナウイルスの影響で初めて世界全体でスコアを落としています。ちなみに1位はフィンランド、2位:スウェーデン、3位:デンマークと北欧の国のスコアが高いようです。

日本の現在の目標達成度を見ると、

順調に**取り組みが進んでいる**目標

目標 4 教育	4 質の高い教育をみんなに
目標 6 安全な水とトイレ	6 安全な水とトイレを世界中に
目標 9 産業・技術革新	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
目標 16 平和	16 平和と公正をすべての人に

さらに**取り組み強化が必要な**目標

目標 5 ジェンダー平等	5 ジェンダー平等を実現しよう
目標 10 不平等を無くす	10 人や国の不平等をなくそう
目標 13 気候変動対策	13 気候変動に具体的な対策を

国、企業、組織、個人がそれぞれさらに意識を持ち取り組みを推進していく必要がありますね。今後、当社があつかう環境配慮の商材も紹介していくつもりなので、是非ご覧ください。